

茶髪や、今どきのファッションで身を固めた若者が教会にいと、色彩豊かで雰囲気明るくなる。「中途半端に染めないで、もっとバチツと決めたら?」「最近、そんなファッションがはやってるの?」と言いがら若者に近づく。隠れてたばこを吸っている高校生がいと、「ちよつと火を貸して」と言つて話のきっかけを持つ▼彼らの外見だけを見て、それを正そうとするより、

いったん肯定して、その後にかかわりを発展させ

る方が実りがある。「君たちが教会に来ると、教会が教会らしくなるよ。いろんな人が集まらないと教会ではないからね。」

地の塩

9に、その主のもとに集う人たちが疲れている。よい服を着て行かなければ。きちんとして行かなければ。主に出会ってこそ、私たちはいやされ、そして、変えられるのであつて、その逆ではないはず▼初めて教会を訪

れ、初めてミサに参加し、初めて福音を聞いた人が言つた。「聖堂の中の十字架は私を迎えてくれました。聖書の言葉は、私に語り掛けているようでした。こんなよい場所があつたんですね。これからも来ていいですか?」今度は息子も連れてきます。「どんな格好をしていても、どんな過去があつても、教会に集つてはできる。そして、主ご自身に出会つて、人は救われる。教会が、信者が、それを邪魔してはいけません。」